

(表二枚)

MEMO

白石高等学校七ヶ宿校令和5年度芸術鑑賞会

大石哲史 うたのコンサート

ひとりかたりおぺら「よだかの星」

ピアニスト 服部 真理子

1.9.2024 (Tue.) in 七ヶ宿町活性化センター

Concert program

(第一部)

● 林光 曲

オペラ「あまんじゃくとうりこ姫」より、じっさとばっさ
舟唄 詩 佐藤信
八匹目の象の歌 詩 B.ブレヒト

● 萩京子 曲

ゆめ売り 詩 金子みすゞ
地球は水の惑星 詩 鄭義信
うたかたのジャズ 詩 高橋純

● シャンソン

脱走兵 詩・曲 B.ヴィアン 訳 加藤直
原子爆弾のJava 詩・曲 B.ヴィアン 訳 加藤直
枯葉 詩 J. プレヴェール 曲 J. コスマ 訳 大石哲史 編曲 服部真理子
クロードのタンゴ 詩 K. ヌガロ 曲 R. ガリアーノ 訳 大石哲史 編曲 服部真理子

(第二部)

ひとりかたりオペラ「よだかの星」

原作 宮澤賢治

作曲 萩京子

profile

歌役者 大石 哲史 (おおいし さとし)

「オペラシアターこんにゃく座」副代表



1955年京都生まれ。京都市立芸術大学音楽学部声楽科卒業。関西二期会などを経て、1981年こんにゃく座に歌役者として入座。入座後、こんにゃく座のほとんどの作品に出演している。主な出演作に『フィガロの結婚』の<フィガロ>、<伯爵>、『ゼロ弾きのゴーシュ』の<ゴーシュ> <野ねずみのおっ母さん>、『森は生きている』の<博士>など多数。また、演出家としても『そしてみんなうそをついた』(2008)、『想稿・銀河鉄道の夜』(2010・2016)、『森は生きている』(2012)などを手掛ける。ワークショップ、歌唱指導者としても各方面で活動。こんにゃく座外でも、東京、名古屋、大阪、熊本、仙台などで定期的な「うたのワークショップ」を独自の体験と経験を活かしつつ展開、日本語で歌うことの楽しさをひろげている。

ピアニスト 服部 真理子

(はっとり まりこ)



ピアノを吉田よし、辛島輝治両氏に師事し、東京芸術大学付属音楽高校を経て同大学を卒業する。同年渡仏。G.ムニエ女史に師事。1981年エピナル国際コンクールに入賞。ソロ、室内楽の分野で数々のコンサートを各地で行う。国外の活動も活発に行い特に1999年パリにおけるコンサートでは、作曲家をはじめ様々な分野から絶賛される。1987年よりオペラシアターこんにゃく座との共同作業を開始し、数々の初演に参加する。2000年秋にはラヴェルのコンチエルトを名古屋フィルハーモニーと共演、好評を得る。サクソフォニストとの共演も多く、近年はファブリス・モレティとフランス、日本で定期的にコンサートを開催している。